

国際海事展「Sea Japan 2018」に出展 — 新型バラスト水生物検査装置を紹介 —

サタケ(本社:東広島市西条西本町 2-30、代表:佐竹利子)は、商船三井テクノトレード株式会社(本社:東京都中央区京橋 1-1-1、代表取締役社長:八田宏和)と共同で、4月11日~13日の3日間、東京ビッグサイトで開催される「Sea Japan 2018(主催:UBM ジャパン株式会社)」に、バラスト水生物検査関連機器を出展します。

「Sea Japan 2018」は、2年に一度開催される、国内最大の国際海事展です。海事産業の最新技術やサービスを求める業界関係者が世界中より多数来場します。サタケは、バラスト水中の生物数(プランクトン数)を測定する新型「バラスト水生物検査装置」を出展・実演するほか、検査に用いるサンプル水を濃縮する「バラスト水生物濃縮装置」を参考出展します。



バラスト水生物検査装置

「バラスト水生物検査装置」は、バラスト水中に生存する L、S 両サイズ^{※1}の生物数を1台で測定する装置です。国際海事機関(IMO)で採択されたバラスト水管理条約^{※2}の発効を見込んで、2014年にサタケが独自に開発しました。今回新たに、検査時間を30分から15分に短縮した新型を出展。本装置は、動植物プランクトン両方に対応した、数少ない装置として注目されています。

また、1立方メートルのバラスト水を100ミリリットルに濃縮する「バラスト水生物濃縮装置」をMOLエンジニアリング株式会社(本社:東京都港区三田 3-11-36、代表取締役社長:宮井修二)と共同開発しました。従来、手作業で行っていた濃縮作業の省力化を実現し、小型・軽量で電源不要な設計により、船舶への持ち込みが可能となりました(詳細は別紙「バラスト水生物濃縮装置」を参照)。

なお、出展するブースは JPN-11、開催時間は午前 10 時より午後 5 時まで(別紙参照)。

※1…最小径 50 マイクロメートル以上が L サイズ。最小径 10 マイクロメートル以上 50 マイクロメートル未満が S サイズ。

※2…2004 年 2 月に採択。2017 年 9 月 8 日に発効。

以上

【お客様からのお問い合わせ先】株式会社サタケ 炊飯システム部営業 2 課(担当:高木)
〒101-0021 東京都千代田区外神田 4 丁目 7-2
TEL:03-3253-5511 / FAX:03-5256-7131 / e-mail:sangyo-system@satake-japan.co.jp

【報道関係からのお問い合わせ先】株式会社サタケ 広報室(担当:大橋 奈央)
〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30
TEL:082-420-8501 / FAX:082-420-8701 / e-mail:koho@satake-japan.co.jp
URL: <http://www.satake-japan.co.jp>



1. 展示会の概要

名 称 : Sea Japan 2018
 会 期 : 2018年4月11日(水)~13日(金)
 10:00~17:00
 会 場 : 東京ビッグサイト 東5・6ホール
 主 催 : UBM ジャパン株式会社
 出展対象 : 造船、船用機器、その他

2. サタケ出展内容(ブース番号:JPN-11)

出展機器	出展方法	概要
バラスト水生物検査装置	実機実演	バラスト水管理条約のバラスト水排出基準(D-2 基準)で規定されている、最小径が50マイクロメートル以上(Lサイズ)と、最小径が10マイクロメートル以上50マイクロメートル未満(Sサイズ)の生物個体数を簡単・迅速・高精度に推定。 約15分で結果が得られます。
バラスト水生物濃縮装置 (参考出展)	実機実演	最小径が50マイクロメートル以上(Lサイズ)の生物個体数を検査するため、サンプル水を必要な量に濃縮できる、簡単・小型・軽量かつ電源不要な装置。

3. 「バラスト水生物濃縮装置」の詳細

バラスト水管理条約で設けられているバラスト水排出基準(D-2 基準)では、最小径50マイクロメートル以上(Lサイズ)の生物個体数が1立方メートルあたり10個体未満、最小径10マイクロメートル以上50マイクロメートル未満(Sサイズ)の生物個体数が1ミリリットルあたり10個体未満であることが規定されている。

Lサイズの測定にあたっては、1立方メートルのサンプル水が必要だが、そのまま計測することが困難なため、濃縮する必要がある。従来、手作業で行っていた濃縮作業の省力化を実現し、さらに船舶への持ち込みを可能にすべく、小型・軽量かつ電源不要な「バラスト水生物濃縮装置」を開発した。